

『和歌山市埋蔵文化財発掘情報 2020』

紀伊国府発見!? ～ 府中遺跡の発掘調査 ～ 』

展示期間 令和2年6月9日（火）から6月29日（月）まで

場 所 和歌山市役所1階 市民ギャラリー

時 間 平日（月～金） 8時30分～17時15分〈ただし、木曜日は19時まで〉

展示内容

紀伊国府は古代の紀伊国（現和歌山県）の役所で、現在の県庁に相当します。紀伊国府は平安時代に記された『和名類聚抄』や『為房卿日記（大御記）』などの文書史料から府中遺跡内に鎮座する府守神社付近に所在したと推定されていました。

昭和44年に和歌山県教育委員会によって、府中遺跡内の遺物分布調査が実施され、また和歌山市等による発掘調査がおこなわれましたが、国府に関連する遺構等は長い間、確認されていませんでした。

しかし、今回の調査ではじめて大型掘立柱建物3棟、塀2列、隅丸方形土坑などの藤原宮期（694～710年）の遺構がみつき、さらに、藤原宮期に宮都で用いられたものとよく似た土師器皿も出土しており、府中遺跡に国府が所在した可能性が高まりました。

今回の調査は小規模であるため、遺構の性格を把握するには材料不足であるものの、今後周辺の調査が進めば大発見につながるものと期待されます。



掘立柱建物跡（北から）



藤原宮期（694～710年）の土師器皿